

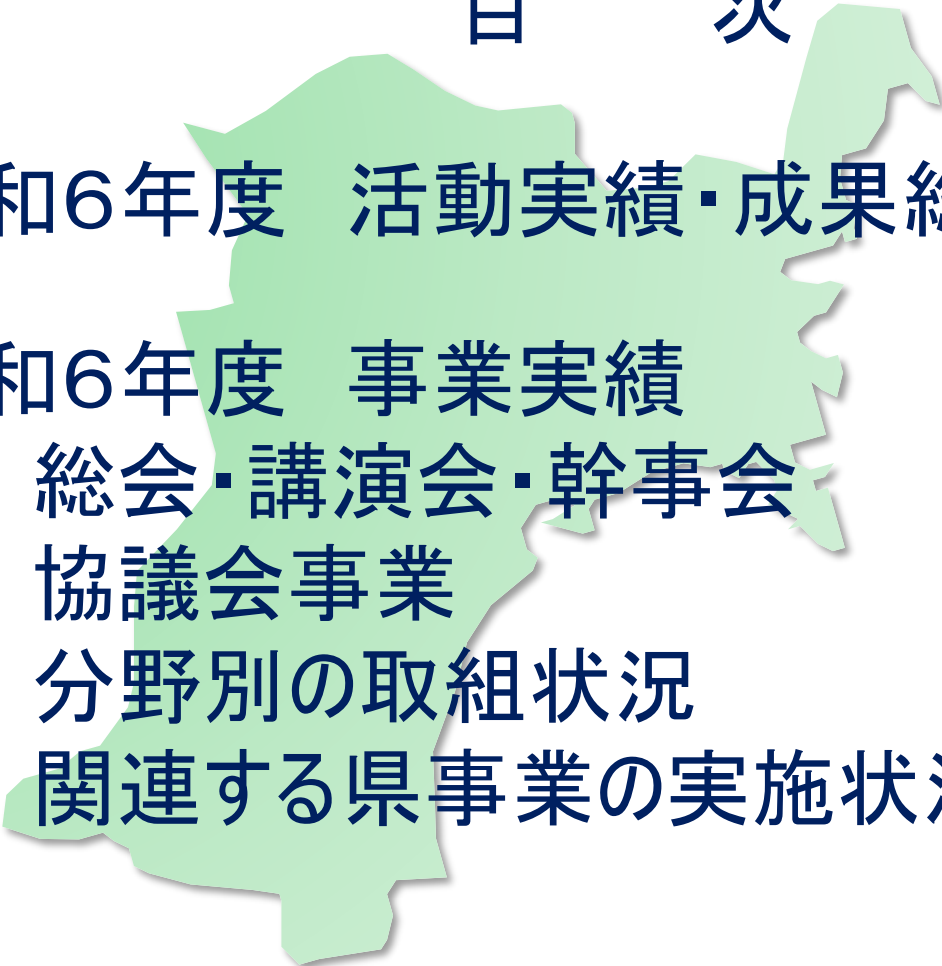


令和6年度 事業実績

令和7年6月23日

みやぎ高度電子機械産業振興協議会 総会

目 次

- 
- 1 令和6年度 活動実績・成果総括
 - 2 令和6年度 事業実績
 - (1) 総会・講演会・幹事会
 - (2) 協議会事業
 - (3) 分野別の取組状況
 - (4) 関連する県事業の実施状況

1 令和6年度 活動実績・成果総括

組織の状況[R7.4.1現在]会員数

537機関(+9)【企業488(+9)、学術6、金融6、支援団体等20、行政17】

項 目	内 容	R6	R5	R4	R3	R2	R1	備 考
講演会・セミナー	開催回数	16回	11回	12回	10回	7回	9回	
	参加者数	877名	651名	747名	540名	655名	645名	
展示会	出展回数	5回	5回	5回	4回	5回	5回	5回計画
	参加企業数	35社	31社	26社	16社	14社	19社	
BM・個別あっせん等	開催回数	119回	153回	149回	157回	152回	150回	BM／個別あっせん／産産連携の合計
	参加企業数	471社	460社	455社	445社	367社	381社	
商談件数	実施件数	408件	447件	414件	231件	192件	284件	展示会商談件数／BM／個別あっせん／産産連携の合計
	成立件数	32件	47件	50件	35件	36件	44件	
	商談成約額	6,832万円	8,006万円	4,811万円	10,779万円	6,549万円	3,829万円	
会員満足度	アンケート調査	90%	80%	77%	69%	68%	77%	

2-(1) 令和6年度 事業実績 総会・講演会・幹事会

① - 1 総会 ⇒ 書面開催(回答数:66、うち承認:66、不承認:0)

① - 2 講演会・交流会 ⇒ 現地開催

(みやぎ自動車産業振興協議会・とうほく自動車産業集積連携会議との共同開催)

月 日	令和6年7月17日(水) 15:50～18:40
場 所	仙台国際センター(仙台市青葉区青葉山無番地)
内 容	<u>ア 講演会 15:50～17:00</u> (参加者数219名) 演題:「BEV で未来を変えていこう!」 講師:トヨタ自動車株式会社BEVファクトリー 主査 人見 真央氏 <u>イ 交流会 17:10～18:40</u>

② 幹事会等

第1回	5月16日(木)	令和5年度事業実績、令和6年度事業計画(案) 等
役員ヒア	8月下旬～9月中旬	幹事企業訪問(今後の協議会事業についてヒアリング)
第2回	12月17日(火)	事業進捗状況、令和7年度事業の方向性の検討 等

③ 事業企画ワーキンググループ

第1回	10月8日(火)	役員ヒアリングの結果、協議会活動の方向性の検討 等
第2回	3月21日(金)	協議会活動の方向性の検討 等

2-(2) 令和6年度 事業実績 協議会事業 [市場・技術理解促進]

① 市場・技術セミナー

※ 「効果」欄はセミナーで回収したアンケート調査のうち、「参考になった」と回答した割合

No	分野	テーマ	開催日	内容(予定)	実績 (名)	効果 (%)
1	全体	営業力強化	展示会出展前セミナー	展示会で成果を上げるために必要な立ち回り方について	14	100
2			展示会接客指導	展示会出展者のブース対応や接客のスキルアップ支援	14	100
3			展示会初心者向けオンラインセミナー	展示会の出展効果及びその効果を高める手法について	11	100
4		3Dプリンター	金属AM研究会	7月19日 12月5日 2月14日 ①金属3Dプリンターの最新動向 ②研究会会員からの情報提供等	28 53 18	—
5			AM・3Dプリンティング品質向上研修	10月9日 ～10日 ①AMのISO品質規格について ②AMによる高品質な部品設計、製造手法について	2	—
6		AI・IoT	AI搭載画像認識システム体験会	6月28日 県内ものづくり企業の生産現場での内製化による 外観検査AIの導入支援	34	100
7			IoTハンズオンセミナー(体験会)	7月18日 県内ものづくり企業の生産現場での内製化による IoT導入支援	23	100
8			AI外観検査ハンズオンセミナー(体験会)	10月30日 ～31日 県内ものづくり企業の生産現場での内製化による 外観検査AIの導入支援	16	100
9		デジタル化 推進(DX)	Mirai DXカンファレンス	11月13日 デジタル化推進のポイント等についての講演、成功事例紹介、システム展示会等	95	97
10			Mirai DXワークショップ	12月3日 2月20日 業務改善活動につながるプログラム等	15 15	—

2-(2) 令和6年度 事業実績 協議会事業 [市場・技術理解促進]

① 市場・技術セミナー

※ 「効果」欄は、セミナーで回収したアンケート調査のうち、「参考になった」と回答した割合

No	分野	テーマ	開催日	内容(予定)	実績 (名)	効果 (%)
11	半導体	半導体基礎講座	8月29日～30日 3月13日～14日	半導体の歴史、原理、プロセスを実習・講義で学ぶ	12 13	—
12		半導体分野市場動向	2月6日	半導体・半導体製造装置の市場動向について	104	97
13	医療	医療分野参入支援	2月18日	参入実績のある企業から販路開拓について講演 等 (テック系スタートアップ・サポートコンソーシアム宮城との共催)	51	96
14	航空宇宙	宇宙分野参入支援	1月30日	航空事業の現状と展望、航空宇宙産業へ挑戦 等 (テック系スタートアップ・サポートコンソーシアム宮城との共催)	49	96
15		次世代モビリティ	9月27日	空飛ぶクルマの現状と展望、取組事例紹介、テスト飛行 等	91	100
合 計 [15セミナー実施済]					658名	

2-(2) 令和6年度 事業実績 協議会事業 [取引創出・拡大]

② 展示会出展支援

No	対象	名 称	日 程	場 所	出展 社数	商談件数	商談成立		継続 件数
							社	件	
1	全 体	第29回機械要素技術展 (日本ものづくりワールド)	6/19～21	東京 ビッグサイト	11	176	2	4	18
2		ネプコンジャパン2025 (第15回微細加工EXPO)	1/22～24	東京 ビッグサイト	5	51	2	3	21
3	半 導 体	セミコン・ジャパン2024	12/11～13	東京 ビッグサイト	9	42	3	10	32
4	エ ネ	第13回ふくしま再生可能エネ ルギー産業フェア(REIFふくしま2024)	10/17～18	ビックパレット ふくしま	4	10	0	0	6
5	医 療	メディカルクリエーションふくしま 2024	9/27～28	ビックパレット ふくしま	6	10	1	1	2
合 計		出展展示会数 : 5展示会			35	289	8	18	79

商談成立: 8件 成約額合計 6, 172千円(把握分)

2-(2) 令和6年度 事業実績 協議会事業 [取引創出・拡大]

③ー1 ビジネスマッチング(個別商談会・技術内覧会等)

ア) 個別商談会・技術内覧会

個別商談会(フォロー案件等含む)や会員企業の技術プレゼン・製品提示を実施

No	開催日	川下企業等	参加企業数	内 容	成果
—	—	—	—	—	—

イ)「みやぎ産業振興機構」との共催による商談会等

No	開催日	商談会名	参加企業数	内 容
1	6/26	みやぎ広域取引商談会	発注企業99社 受注企業245社	県内外の発注企業と県内受注企業との商談会 及び情報交換会
2	11/19	宮城・福島合同商談会	発注企業46社 受注企業99社	中小企業の新規取引先の開拓及び広域的な受 注機会を提供する商談会

2-(2) 令和6年度 事業実績 協議会事業 [取引創出・拡大]

③-2 ビジネスマッチング(応募提案方式)

実施件数等	参加企業数	進捗状況・結果
1件	3社	対象企業に事業プレゼンを実施するも成約には至らず

③-3 ビジネスマッチング(個別企業紹介／あっせん)

分野	主なニーズ等	紹介企業数	進捗状況・結果
半導体・エネルギー	マッチング可能性のある企業を適宜紹介	13件 26社	—
医療・健康機器		4件 5社	商談成立: 1件
航空宇宙		—	—
全般 (複数分野にまたがる内容を含む)		21件 45社	商談成立: 1件

【全般の内容】

「装置製作」6件、「部品製作」4件、「AI・IoT(生産システム見直し等)」6件、「それ以外」5件

2-(2) 令和6年度 事業実績 協議会事業 [取引創出・拡大]

③-4 ビジネスマッチング(産産連携・共同開発、技術課題解決、受注体制コーディネート等)

実施件数等	紹介企業数	進捗状況・結果
3件	3社	・開発製品の概要共有→回答待ち ・協議するも連携に至らず

③-5 ビジネスマッチング(みやぎ産業振興機構「ビジネスマッチング強化促進事業」)

分類	主なニーズ等	参加企業数	進捗状況・結果
個別あっせん	マッチング可能性のある企業を適宜紹介 ・部品加工等	80件 389社	商談成立:22件

○参加(紹介)企業数: 延べ471社

○商談 成立件数: 24件 成約額: 62,140千円 (把握分)

2-(2) 令和6年度 事業実績 協議会事業 [情報発信]

① 企業ガイド

宮城県内ものづくり企業紹介サイトの構築

- ・ みやぎ高度電子機械産業振興協議会及びみやぎ自動車振興協議会の会員を対象とした企業紹介サイトを構築し、3月に公開
【掲載企業数】53社(R7.3.31時点)
- ・ 令和5年度作成の企業ガイドブック(第12版)を展示会で配布、川下企業等への紹介に活用



② HP・メーリングリスト等々による会員への情報発信

- ・ 会員企業に有益な各種情報(セミナー、展示会、補助金等)をHPやメールで発信
- ・ 協議会事業のみならず、関係機関・団体、学術機関等の情報も収集、随時発信
実績 148件 (R7.3.31時点)

③ 会員企業の基盤技術の情報提供

- ・ 会員企業の基盤技術に応じて、受注獲得が見込まれる川下企業等へ随時発信

2-(2) 令和6年度 事業実績 協議会事業 [連携構築]

① 産学連携の促進

ア) 連携案件等 → 3Dプリンター関連:東北大学 千葉教授、半導体分野:東北大学 佐藤教授 外

イ) 東北大学とのセミナー・講習会の共同開催

② 海外展開支援に係る連携促進

県内企業の海外展開をサポートする各機関・団体等と連携して、支援メニューの実施、各種支援メニュー等の情報を随時提供

③ 産業支援機関・団体等との連携促進

みやぎ産業振興機構 首都圏ニーズ開拓員との定期的なビジネスマッチング全体会議の開催による情報共有及び課題解決による効果的なマッチング等の促進

会 議	日 程	内 容
第1回	7月1日	計画の推進状況確認及び情報交換等
第2回	10月3日	計画の推進状況確認及び情報交換等
第3回	12月25日	計画の推進状況確認及び情報交換等
第4回	2月18日	計画の推進状況確認及び情報交換等

2-(2) 令和6年度 事業実績 協議会事業 [人材育成]

① 次世代リーダー育成支援事業の推進 [みやぎ産業振興機構]

新事業への進出やデジタル技術の活用による生産性向上といった戦略的経営に取り組むリーダーの育成に向けた、次期後継者や管理職層を対象とした次世代リーダー育成支援

- ・ 研修期間 令和6年7月12日～令和6年12月6日
- ・ 受講者数 15名
- ・ カリキュラム内容 生産現場でのDX、生産現場改善、新事業展開、環境経営、チームマネジメント、マーケティング 等

※ 令和4年度～令和6年度受講生を対象にしたフォローアップ講座も開催(令和7年1月29日)

② みやぎ高度電子機械人材育成センターによる技術研修の実施

理工系大学、高専学生を対象とした実践的な研修による若手技術人材育成・確保

- ・ 研修名称 みやぎエンジニア夏期セミナー
- ・ 研修期間 令和6年8月19日～令和6年8月23日(5日間)
- ・ 受講者数 33名
- ・ 主な内容 学術機関施設見学／エンジニア体験実習／みやぎ高度電子機械関連企業の紹介／エンジニアカフェラウンジ
- ・ 対応企業 東北大学マイクロシステム融合研究開発センター、アイリスオーヤマ(株)、東京エレクトロン宮城(株)、リコーインダストリー(株)、エトリア(株)、キョーユー(株)、(株)ティ・ディ・シー、日本ファインセラミックス(株)、プラスエンジニアリング(株)

2-(2) 令和6年度 事業実績 協議会事業 [その他]

① みやぎ高度電子機械産業振興アドバイザー派遣

市場参入、取引創出・拡大等に向けた指導・助言を実施

No	分野	派遣回数	主な活動内容
1	全体(主に半導体・航空機)	59回	半導体関連メーカー等と県内企業のマッチング支援 航空機メーカー等と県内企業のマッチング支援
2	医療・健康機器	26回	事業化や薬事対応に関するアドバイス 医療機器メーカーと県内企業のマッチング支援

② 工場見学会

実績なし

③ 交流会(各市場・技術セミナー等開催後) ※講演会開催後の交流会を除く

12/3 DXワークショップ開催後

1/30 宇宙分野参入支援セミナー開催後

2/18 医療分野参入支援セミナー開催後

④ 薬機法申請支援

実績なし

2-(4) 令和6年度 事業実績 分野別の取組状況

【半導体】①製造装置等メーカーR&D部門やTier1へのアプローチ強化

取組の方向性

- 半導体製造装置メーカー等への参入は、4 M（人、機械、材料、製法）に関わる変更が半導体の歩留まりに影響するため変更の高いハードル(変更承認)があるが、これまでの取組により県内企業でも新規の受注獲得・取引拡大が確認できている。
- 今後、半導体市場はAI・IoTの活用、自動運転等により右肩上がりで成長していくことが予想されるため、部品サプライヤー企業とのマッチングや開発部門との交流を図るなど、半導体デバイス開発・装置設計等に係るマッチングの強化も図っていく。

現況及び折衝状況

- 1 大手半導体製造装置メーカー、Tier1企業、既参入企業との定期的な情報交換
・情報収集及び参入県内企業フォローアップ
- 2 Tier1企業と県内企業のマッチング（みやぎ産業振興機構と協働）
- 3 SEMICON Japan 2024に県内企業と共同出展（12/11～13）
- 4 半導体セミナーを実施（2/6）
・半導体・半導体製造装置の市場動向について

今後の方向性

- 重点市場の中でも半導体産業への参入を特に進めるため、大手半導体製造装置メーカーからの情報収集と関連サプライヤーへのフォローアップを中心に支援し、取引の創出・拡大につなげていく。

【半導体】②東北大学との産学連携による次世代技術市場への参入促進

取組の方向性

- 東北大学CIES（国際集積エレクトロニクス研究開発センター）や電気通信研究所、多元物質研究所等と協力し、次世代技術を知り、触れる機会を県内企業に提供。
- 東北大と地域企業のマッチングを行い、県内企業の技術向上と次世代半導体市場への参入促進を図る。

現況及び折衝状況

1 東北大学電気通信研究所 – 社会人のための半導体基礎講習会 –

- ・ 企業等を対象に、半導体の歴史・原理・プロセスを実習・講義で学ぶ講習会。
露光やウエハカット、電子顕微鏡を用いた分析等を実際に体験。

第1回(8月)7社12名参加(県内1社2名)

第2回(3月)4社13名参加(県内2社2名)



今後の方向性

- CIESと県内企業のマッチングに加え、電気通信研究所、多元物質科学研究所との連携を図る中で、県内企業に対する勉強機会の提供や長期的な事業化の芽を探索していく。

【エネルギー】 県内産リチウムイオン電池の活用推進等

取組の方向性

- リチウムイオン電池活用促進をはじめとした、新エネルギー関連設備等の開発
- 特に再生可能エネルギー・省エネルギーに資する技術開発への支援を強化
- 再生可能エネルギー施設産業への参入支援や県内サプライヤーの構築

取組状況

1 県内産リチウムイオン電池を活用した商品開発支援

- ・ 県内産リチウムイオン蓄電池と商用電源を内蔵した蓄電システム商品の開発支援
鉄道や道路工事/保守点検用の電源として提案し実証試験確認済み
【入力】：太陽光/商用電源 【出力】：AC100V/1.5kW 蓄電池6.4kW
- ・ 産業用オフグリッド向け大型蓄電システムの開発支援（共同開発）
事務所/店/工場向け再生エネルギー活用蓄電システムの開発支援
AC200V/4.8kW出力/蓄電池容量最大19.2kWh（最大10台拡張可能）

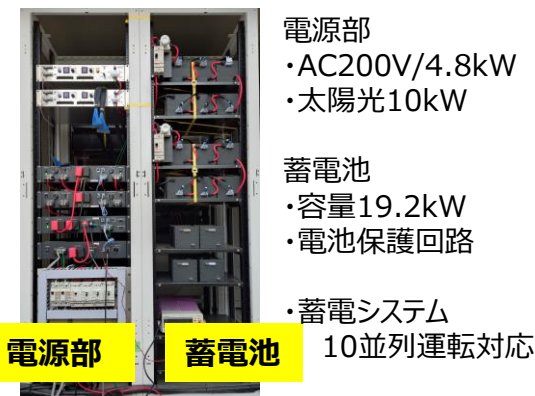
2 GXに関する取組み支援やエネルギーの可視化支援

- ・ 省エネ設備導入や再生エネルギー活用に関する支援事業の紹介
- ・ 生產品毎のCO2消費量やエネルギー消費の可視化取組みの情報発信
- ・ 高電圧大電流デバイス開発に向けた部品試作開発の支援
- ・ REIFふくしま2024に県内企業と共同出展（10/16～18）
県内企業の定置用蓄電システムや電力センサーによる電力可視化商品

【一体型蓄電システム(6.4kWh)】



【産業用大型蓄電システム開発】



今後の方向性

- 省エネ/再エネに貢献するデバイス・商品開発の支援や企業連携による付加価値商品サプライヤーの支援
- 県内企業のカーボンニュートラルへの取組み支援（再エネ・省エネ・グリーン商品開発）や情報発信の強化

【医療機器】 薬機法等の参入障壁に対応した補助事業や伴走型支援の提供

取組の方向性

- 医療機器分野では、医薬品医療機器等法（薬機法）による製造や販売の制約、また製造工程では高度な品質体制が求められる。一方で比較的安定した売上げが期待できるため県内企業からの参入ニーズがある。そのため、製造品質体制の構築や製品開発に関する補助事業、及び事業化や薬事対応への伴走型支援により円滑な参入促進を図る。

取組状況

- 製品開発、製造品質体制の構築に関する補助事業

事業名	概要（特徴）	状況	備考
医療分野参入促進事業費補助金	・医療機器認証に必要な薬事対応費も対象経費となる試作開発 ・医療分野の学会併設展示会等での販路開拓	・医療分野への参入促進及び取引拡大に向け、試作開発・販路開拓（4件採択）を支援	・主に医療機器製造販売業（自社製品として、医療機器（認証が必要）を製造販売）として参入を図る際の支援
国際認証取得奨励金	・ISO13485（医療機器に関する品質マネジメントシステム）取得に際の奨励金	・毎年一定数の認証取得があり、医療機器参入企業数が広がっている。	・主に医療機器製造業（医療機器メーカーからの製造受託）として参入を図る際の支援

- 事業化（参入や事業拡大の際のビジネスモデル検討や取引拡大）や薬事対応に対しての伴走型支援
 - ・アドバイザー派遣による企業訪問等（継続訪問企業のフォローアップ、及び新規企業の開拓）
 - ・メディカルクリエーションふくしま2024に県内企業と共同出展
 - ・医療分野参入支援セミナー（2/18）医療機器産業への参入に際して必要となる基礎知識、参入実績のある企業様等から医療機器製造の現場等に関する講演及びテック系スタートアップ企業等との交流会を開催 参加者：51名

今後の方向性

- 企業訪問等を通じて、参入状況のフォローアップや新規企業の開拓を継続し、各企業の状況に応じた補助事業や伴走型支援の提案を継続する。

【航空宇宙】エンジンメーカー等のTier1、Tier2へのアプローチ継続



取組の方向性

- エンジンメーカー等のTier1、Tier2への継続したアプローチ（防衛省の航空機等の外注ニーズの収集）
- エンジン部品以外への参入分野ターゲットの拡大
- 航空機需要の回復に伴う急激な発注案件への迅速な対応準備

現況及び折衝状況

1 県内企業訪問

- ①既参入企業の状況確認 ②新規参入を目指す企業の開拓

2 航空機エンジンメーカー訪問

航空機エンジンメーカーI社を訪問し、事業状況及び外注ニーズの情報収集を行った。

3 航空機エンジンメーカー（Tier2等）とのマッチング

- ①Y社（東京都／秋田県）②T社（東京都）③A社（栃木県）
 - ・企業訪問により交流を継続し、宮城県との協力関係を維持。業界動向及び外注ニーズ、参入県内企業との取引状況について情報収集を行った。
 - ・航空機需要の回復を見据え、県内企業へのアテンド訪問を実施。

4 セミナー開催

- ①宇宙分野参入支援セミナー（1/30）
航空機エンジン部品サプライヤー、宇宙関連企業による講演及びテック系スタートアップ企業等との交流会を開催。航空宇宙市場の動向や参入に関する情報発信、企業交流の機会創出を行った。参加者：49名
- ②空飛ぶクルマセミナー（9/27）
空飛ぶクルマの社会実装に向けた取組、課題、産業としての可能性等についての講演。テストフライト飛行も実施。参加者：91名

今後の方向性

- 装置・治工具等を得意とする県内企業の強みを活かし、エンジン部品及び治工具の取引創出と拡大にも引き続き取り組む。
- 航空機エンジンメーカーとの関係維持・拡充を図りながら、ニーズに応じて県内企業とマッチングを行い、受注拡大を目指す。
- 宇宙分野や次世代空モビリティ（空飛ぶクルマ、物流ドローン）など航空機の認証が生かせる領域の情報提供を行っていく。

【3 DP】3Dプリンター活用促進

取組の方向性

- 県内企業の3Dプリンターの活用促進にむけて、日本初の粉末から造形・検査までの一貫したサービスビューローである日本積層造形とのマッチングを図る。
- 金属粉末積層3Dプリンターは医療や航空機、自動車関連市場での活用が見込まれており、高精度の部品提供には後加工が必要であるため、昨年度に引き続き3Dプリンターの周辺分野との連携を図る実践的な内容として実用化トライアルを実施し、造形品の加工技術・3Dプリンター用適合部品の精度向上設計技術を高める。

現況及び折衝状況

<セミナー等の開催日>

日付	内容	講師	概要	参加者
7月19日 12月5日 2月14日	宮城AM研究会	東北大学未来科学技術共同 研究センター 千葉特任教授	千葉教授をはじめ参加企業による3Dプリンターの最新 動向説明	<第1回> 28名 <第2回> 53名 <第3回> 18名
10月9日～ 10日	AM・3Dプリンティング品質 向上研修	テュフズードジャパン(株) 永野氏	AMのISO品質規格、AMによる高品質な部品設計及 び製造手法の解説	2名
1月28日、 29日	パラメトリックデザイン研修	Fablab SENDAI FLAT	機構解析、トポロジー最適化、AI等の基礎となるアルゴ リズムによる設計の基礎を学ぶ。	4名
2月7日	アイデア創出ワークショップ	アイデアプラント 石井氏	積極的に生成AIを活用する製造業向けビジネスアイデ ア創出ワークショップ	6名

今後の方向性

- DEセンターによる普及啓蒙やマッチング等による技術力向上及び関連産業集積、新事業創出の促進
- 試作造形や造形物の後加工等3Dプリンターの利用及び周辺分野への県内企業の参入を図る。

【生産性・品質改善】 “身の丈”IoTやICT技術の導入・活用推進

取組の方向性

- 企業体質強化を目的として、DX実現のいち手段であるIoT・ICTを生産性向上の1つのツールとして広く活用されるよう導入支援を行う
- 産技C連携によるデジタル技術の底上げ及び企業に向けたデジタル関連支援事業の活用推進を図る

取組状況

外観検査に対するニーズが高い

➤ 産技C「身の丈DX事業」との連携（R5～） ※数値：R6.4～R7.3実績

体験会等

- 身の丈DXラボ来所・説明実績：延べ177社、334名
うち体験会等実績(IoT:13社23名、AI外観検査等:23社50名)

伴走支援

- 伴走支援実績：17件
 - ① K社【電気部品製造】：IoTによる各自動機の運転状況及び工場内温湿度把握の支援実施
 - ② D社【樹脂部品製造】：樹脂部品のAI外観検査お試し活用実施、AI認識システム企業連携等

技術相談

- 技術相談実績：295件
 - ① K社【食品加工】：工場冷蔵庫の温度自動モニタリング → IoTお試し活用提案
 - ② M社【省力機器】：社内基幹システム更新及び部品検査へのAI活用→身の丈DXラボ活用提案

➤ 企業マッチング

- AI外観検査 2件 : 製品外観検査の自動化 【部品製造会社へ外観検査装置開発メーカーを紹介】
外観検査装置への採用相談 【外観検査装置開発へ外観検査機器メーカーを紹介】
- ERPシステム 1件 : 古い基幹システムの見直しが必要 【製品開発製造会社へシステム開発会社を紹介】

➤ デジタル関連支援事業（補助金）

- ①活用相談 7社 例 ・社製品検査工程へのAI外観検査システム導入したい 【部品製造】
・AIやIoTの機能を持たせた自動機を開発及び導入したい 【部品加工、材料製造など】
- ②フォローアップ 2社 ・製造品検査へのAI外観検査機導入 → 改善中 【食品製造】
・生産行程品質のデジタル化 → 運用中。更に適用拡大を検討中 【食品製造】

今後の方向性

- デジタル関連支援事業活用企業のフォローアップを継続することにより導入効果の定着化を図ると共に、AI・IoTを含めたデジタル化に関する啓蒙、導入を支援し続けることにより、県内製造企業のDX化の進展を後押しする

2-(3) 令和6年度 事業実績 関連する県事業の実施状況[主な支援メニュー]

① 高度電子機械産業 国際認証取得奨励金

企業名	区分	取得年月
光電子(株)	ISO13485	10月28日(7月2日指定)

② 新規参入・新産業創出等支援事業【成長分野参入支援型】

企業名	開発テーマ
(株)佐藤製線所	新たな自動車部品用途への新規参入を目指したeco鉄線及びeco鉄直線の開発
ロア木工	5軸CNC加工技術を用いた風力発電向けの大型木製ブレードと支柱の開発
(株)東栄科学産業	簡易型自動非磁性プローバの開発
ライズ(株)	AIを活用した胃部X線画像からのH. Pylori感染検出ソフトウェアの開発と商品化
安住電機(株)	防犯機器遠隔監視サービスの拡充に向けたエッジデバイスの開発

2-(3) 令和6年度 事業実績 関連する県事業の実施状況[主な支援メニュー]

③ 新規参入・新産業創出等支援事業 【地域イノベーション創出型】

企業名	開発テーマ
Blue Practice (株)	病変血管の応力を可視化する血管内治療ハンズオンシステムの開発
ヘキサコア(株)	通信装置用分電盤に対応した通信機能内蔵コアレス直流電流センサの開発
KFアテイン(株)	除雪重機用滑雪塗料の水性化に関する研究
ALISys(株)	準天頂衛星システムと地中レーダを組み合わせた高精度地下可視化技術の開発

④ 新規参入・新産業創出等支援事業 【グループ開発型】

企業名	開発テーマ
(株)3DC、AZUL Energy(株)、東北大学	高効率な水素製造に向けた低コスト水電解用電極触媒の開発
東北特殊鋼(株)、サンリツオートメイション(株)、東北大学	振動発電で配線レス・電池レスを実現する、予知保全向けIoTセンサノードの開発および実証システムの構築
(株)石巻アパラタス、成邦商事(株)、(一社)おおさき産業推進機構	自動ホタテウロ取り装置用ウロ取り残し検査装置の開発

2-(3) 令和6年度 事業実績 関連する県事業の実施状況[主な支援メニュー]

⑤ 医療分野参入促進事業

【試作開発型】

企業名	開発テーマ
(株)TBA	POCTの実現を目指した操作が簡便な Dengue 熱ウイルス遺伝子検査キット構成部品の開発
アイラト(株)	医師の好みを反映したAI放射線治療計画支援サービス開発
(株)KOEDA	急性胆嚢炎のドレナージ治療における新規デバイスの確立

【販路開拓型】

企業名	開発テーマ
(株)JPステート	高感度センサ搭載電子聴診器の販路開拓

2-(3) 令和6年度 事業実績 関連する県事業の実施状況[主な支援メニュー]

⑥ 金属粉末積層3Dプリンター利用補助金

企業名	開発テーマ
(株)プラモール精工	成形品の品質向上と歩留まり改善による生産効率の最大化

⑦ ものづくり中核企業AI・IoT導入等支援事業

【ものづくり中核企業AI・IoT先進技術導入補助金：4件】

企業名	開発テーマ
明治合成(株)	生産情報の即時共有化による品質分析アラートを目的とする不具合早期発見システムの構築
(株)東京ダイヤモンド工具製作所	AIシステム導入による外観検査の生産性向上
(株)C&A	画像解析とIoT技術を活用した結晶製造プロセスのオートメーションシステムの開発
サンリット工業(株)	AIカメラによる検査及び産業用ロボットによる箱詰め装置

⑧ 中小企業等デジタル化支援事業

中小企業等の生産性向上等を目的としたデジタル化の取組を支援するもの

◆ デジタル化に係るアドバイザー派遣 571回

◆ デジタル化に係る導入経費補助(ソフトウェア導入、機器整備等) 交付決定 120件
(ソフトウェア導入例: 勤怠管理システム、在庫管理システム、グループウェア等)

2-(3) 令和6年度 事業実績 関連する県事業の実施状況[主な支援メニュー]

⑨ 人材育成・確保事業

ア) 半導体関連産業人材の育成・確保

○ 県内高等学校等教員向け半導体実習&見学ツアーの開催

開催日 令和6年8月8日

参加者 県内高等学校等教員19名

内 容 県内高校教員の半導体産業に対する理解促進と
学生への教育内容や進路指導等の充実化

【半導体製造プロセス体験等】

- ・東北大学マイクロシステム開発融合研究開発センター
- ・次世代放射光施設NanoTerasu

【県内半導体関連企業見学】

- ・東京エレクトロン宮城(株)



○ 半導体関連産業の紹介ツール(冊子)の作成・配布

冊子名 ゼロからわかる！世界にひろがる宮城の半導体

内 容 主に高校生や大学生とその保護者の半導体産業の理解
促進や関心を高め、将来の職業候補の一つとして認知し
てもらうため、1,400部の冊子を作成・配布

- ・半導体の役割や仕組み、種類、製造工程
- ・半導体産業に関わる宮城県内の企業について
- ・半導体業界図など

【取材協力企業】半導体産業に関わる県内企業15社



2-(3) 令和6年度 事業実績 関連する県事業の実施状況[主な支援メニュー]

⑨ 人材育成・確保事業

ア) 半導体関連産業人材の育成・確保

○ 半導体関連産業の紹介ツール(ロゴマーク)の作成・配布

名 称 むすび丸半導体バージョン

内 容 国内外に対し、統一感のある効果的なPRを実施するため、
むすび丸半導体バージョンのロゴマーク(4種類)を制作
【キャッチコピー】

MIYAGI:Creating the Future with Semiconductors

【活用方法】

- ・企業誘致活動
- ・ビジネスマッチングイベント
- ・半導体人材育成・確保事業等における広報 など



むすび丸

○ 主に小中学生やその保護者を対象とした半導体イベントの開催

開催日 令和6年11月17日

参加者 881名(①～③の合計)

場 所 JR仙台イーストゲートビル1F「ダテリウム」内

内 容 半導体への関心を高めるとともに、将来、担い手となる人材の
裾野拡大等を図った

- ①小島よしお&阿部清人先生サイエンスショー
- ②作って知ろう! 半導体の役割ワークショップ
- ③パネル展示&クイズ



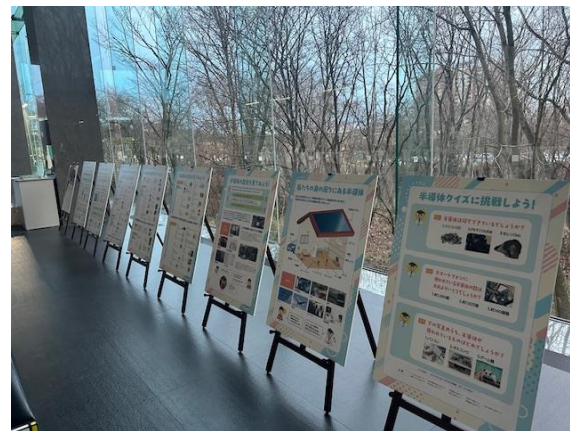
2-(3) 令和6年度 事業実績 関連する県事業の実施状況[主な支援メニュー]

⑨ 人材育成・確保事業

ア) 半導体関連産業人材の育成・確保

○ 半導体企画展の開催

- 開催日 令和6年12月14日～令和6年12月26日
場 所 宮城県図書館1階エントランス
内 容 半導体について紹介するパネルを展示し、
多彩な層に半導体産業をPR
・半導体ってなんだろう？
・半導体の歴史
・生活の中の半導体製品 など



○ 首都圏UIJターンイベントの開催

- 開催日 令和7年3月4日
参加者 23名
場 所 ヨシモト∞ドーム(東京都渋谷区)
内 容 宮城県ゆかりの芸人と半導体関連企業を含む県内企業による
意見交換、学生との交流会等を通じ、主に首都圏学生等に対し、
県内企業の魅力を発信
【参加企業】 半導体関連企業を含む県内企業5社



2-(3) 令和6年度 事業実績 関連する県事業の実施状況[主な支援メニュー]

⑨ 人材・確保事業

イ) ものづくりカレッジプロジェクト

みやぎ工業会を中心とする産業界、理工系学部を有する東北学院大学、東北工業大学、石巻専修大学、東北文化学園大学と、宮城県でものづくりカレッジを設置し、大卒人材の県内就職や県内定着につなげることを目指すもの。

今年度は、中小企業支援や人材育成等に関して優れた識見をお持ちの白幡洋一氏に学長に就任いただくなど、産学官が一体となってプロジェクトを推進していく体制を構築したほか、講演会、企業見学会、企業説明会といったモデル事業の実施や開学式の開催など、来年度からの本格実施に向けた準備を着実に進めた。

・ものづくりカレッジ開学式

開催日 令和6年10月31日

場 所 石巻専修大学 森口記念館

参加者 約150名

